

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 千種 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 水野民也

No.17 (1982~1983)

MANKIND IS ONE-
Build Bridges of Friendship
Throughout the World

人類はひとつ
世界中に友情の橋をかけよう
1982~83年度 R I 会長 向笠広次

第17回例会 昭和57年12月14日 (火) 晴

◇ “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 40名 出席 34名
出席率 85.00%

◇ 前回 12月7日 (修正出席率) 100% make up

青山君(12/8和合), 林君(12/3港), 水野(民)
君(12/3北), 新美君(12/11守山)

◇ ビジター紹介 5名

◇ ニコボックス

都築君(全快祝), 鈴木君(長男が東京で挙
式しました), 谷口君(御母堂会葬御礼), 新美
君(店舗新装)

◇ 松居幹事報告

1. 本日例会終了後年次総会を開催いたしま
すので、会員の方はそのままお残り下さい。
2. 先日ご案内いたしました、I.G.Fの出
欠席の御返事をお帰りにご連絡下さい。
3. 会員名簿を作成いたしますので各会員の
方は、本日お渡しいたしました用紙と写真
を事務局までご提出下さい。
4. 次週例会は12月20日(月)17時30分より年
末家族会を行いますので21日(火)の例会は
ございません。お間違えのないようお願い
致します。
5. 例会場に掲示してあります写真のお申込
みは、本日締切りといたしますのでよろし
くお願い申し上げます。
6. 認証状伝達式のビデオテープが出来上っ
て居りますので、メーカーを事務局にお申
し出下さい。

◇ 谷口君挨拶

一言御礼を述べさせていただきます。

過日母の葬儀に際しましては水野会長はじめ、
会員の皆様に数々の御厚情を賜わり厚く
御礼申し上げます。どうも有難うございま
した。

◇ 水野(民)会長挨拶

本日は5名のビジターの御出席を頂き、第
16回の例会が出来ます事を厚く御礼申し上げ
ます。

1週間休みますと池下の駅が変わり、街の
様子が一変した様に感じました。

41年前の12月はハワイでの戦果、マレー沖
での戦果に日本は沸き、近い将来のあの原爆
による大敗、その後の苦難の道も知らずに、
日本の力を過信し、踊らされて戦争に突入し
て行った日々でした。

さてその12月8日に名古屋市内14RCの会
長幹事会があり、我々のRCを含めて88Cの
第260地区は日本で最大であり、即ち世界で
最大の地区であろうと大隈ガバナーが言わ
れ、もうこれ以上増えては、公式訪問等も不
可能に近いと思われ。又分区で我々の尾
張第1分区は19RCがあり、7RCが分区の
最大限と言われている事からすれば、何らか
の方法も考えられるのではないのでしょうか。

又年次大会のあり方、ICGFのあり方等
についても色々討議がされました。

今日は例会終了後、総会を行いますので、
ビジター各位は、時間は多少早いと思いま
すが、点鐘致しますのでお聞き頂いて結構で
ございます。どうもありがとうございました。

◇ 講演

“動物愛護「日本と欧米の視点の相違」”

会員 堀場 利幹 君



現在、地球上に生存
する動物は、分類する
と原生動物から哺乳類
まで、実に90万種類と
いう夥しい数になる
が、人類がこの地球上
に生存し続ける為には、
これらの動物をあ

らゆる角度から活用しなくてはならないのであります。

従って動物の生存を絶やさないようにする事は、人類にとって絶対的な要件であります。その為には、これらの動物の生態を知り、愛情を持って保護育成する事が必要で、人間が動物に対して無関心のまま、虐待と殺りくを繰り返せば、必ず人類も滅亡へと真っしぐらに突き進む事は明白であります。

最近、大きな国際的反響を呼んでおります。イルカ騒動、捕鯨の是非、あるいは生きたままで輸入する食用の牛馬に対する強い反発等で見られるように、動物愛護に関しては、常に日本は欧米諸国から野蛮国呼ばわりで強い非難を受けております。

私には日本が動物愛護に理解の無い国とは考えられません。これは動物愛護に対する日本と欧米の考え方の相違、即ちそれぞれの先祖が農耕民族と狩猟民族であったことに基づいているのであります。

元来、農耕民族は食糧確保のため、定まった農耕地を持って定住していたし、狩猟民族は獲物を追って移住していたのであります。農耕民族にとっては、ある種の動物を時には労役用としたり、警備のために利用する事はあっても、ほとんどの場合、外敵としか口に映らないのであります。

それに比べて、狩猟民族にとっては動物は自分達の生命の糧であり、動物の保護育成を怠る事は、農作物の播種を怠る事と同じで、彼等の英知は動物愛護に向けられ、次第に熱心になってきたと考えられます。

このことは時代の変遷のため社会機構が一変し、農耕民族と狩猟民族の区分がなくなった現代に至っても、連綿として伝統的に受け継がれているのであります。

一方、西欧的な動物との共存関係が一般的ではなかった日本においては、動物愛護思想の根元が、網吉の生類憐みの令でも明らかなように、仏教的憐憫の情を根底に持っているのであります。

現代では狩猟民族をルーツとした西欧的思想が支配的になっており、日本的動物観は極めて後進的とされ、時々、野蛮呼ばわりされる破目となっているのであります。このような不当な非難は是正しなくてはなりません。欧米人は日本人が考えているよりも遙かに、動物に対しては重大な問題として受け止めており、動物愛護についても文明人としての最低必要条件とすら考えているようです。

我々にとっては、この欧米人の動物観、動

物愛護思想について十分理解し、社会的対応についても積極的に学ぶ必要があるのではないのでしょうか。

◇年次総会

1983～84年度理事役員

| | |
|---------------|------|
| 会長(理事) | 竹内真三 |
| 副会長(理事・クラブ奉仕) | 加藤大豊 |
| 幹事 | 三輪康 |
| 副幹事 | 谷口暢宏 |
| SAA | 水野賀統 |
| 副SAA | 石田耕嗣 |
| 理事(社会奉仕) | 菊池昭元 |
| 理事(国際奉仕) | 林淳三 |
| 理事(職業奉仕) | 黒須一夫 |
| 会計 | 浜口龍男 |
| 理事(直前会長) | 水野民也 |
| 理事(直前幹事) | 松居敬二 |

水野(民)会長が議長となり次年度理事役員承認の件、全会員の拍手により承認されました。

◇昭和57年10月度分區別会員数及び出席率

| 分 区 | クラブ名 | 会員数 | 出席率 | 例会数 | 前会員数 | 増 減 |
|-------------|------|-------|--------|-----|-------|------|
| 尾 張 第 一 分 区 | 半田 | 62 | 99.00 | 4 | 63 | - 1 |
| | 東名 | 44 | 98.82 | 4 | 42 | + 2 |
| | 名古屋 | 47 | 98.31 | 5 | 47 | 0 |
| | 名古屋 | 219 | 95.52 | 4 | 217 | + 2 |
| | 名古屋 | 96 | 96.77 | 3 | 96 | 0 |
| | 名古屋 | 99 | 99.80 | 5 | 102 | - 3 |
| | 名古屋 | 49 | 100.00 | 3 | 49 | 0 |
| | 名古屋 | 54 | 100.00 | 4 | 54 | 0 |
| | 名古屋 | 118 | 99.76 | 4 | 117 | + 1 |
| | 名古屋 | 104 | 99.60 | 5 | 102 | + 2 |
| | 名古屋 | 57 | 100.00 | 4 | 57 | 0 |
| | 名古屋 | 78 | 98.37 | 5 | 76 | + 2 |
| | 名古屋 | 98 | 99.30 | 3 | 98 | 0 |
| | 名古屋 | 145 | 98.19 | 4 | 142 | + 3 |
| | 名古屋 | 82 | 100.00 | 4 | 82 | 0 |
| | 名古屋 | 73 | 99.66 | 4 | 73 | 0 |
| | 名古屋 | 52 | 95.67 | 4 | 52 | 0 |
| | 名古屋 | 59 | 96.53 | 5 | 59 | 0 |
| | 名古屋 | 39 | 97.41 | 4 | 37 | + 2 |
| | 19C | 1,575 | | | 1,565 | + 10 |

◇次回例会(12月21日)

東RC合同年末会員家族懇親会のため20日(月)に変更

と き 12月20日(月)

17:30~18:00 例会

18:00~20:00 家族会

ところ ホテル ナゴヤキャッスル

◇次々会例会(12月28日)

例会場都合のため27日(月)に変更

卓話 “第9回競技大会に参加して”

会員 加藤 大豊 君